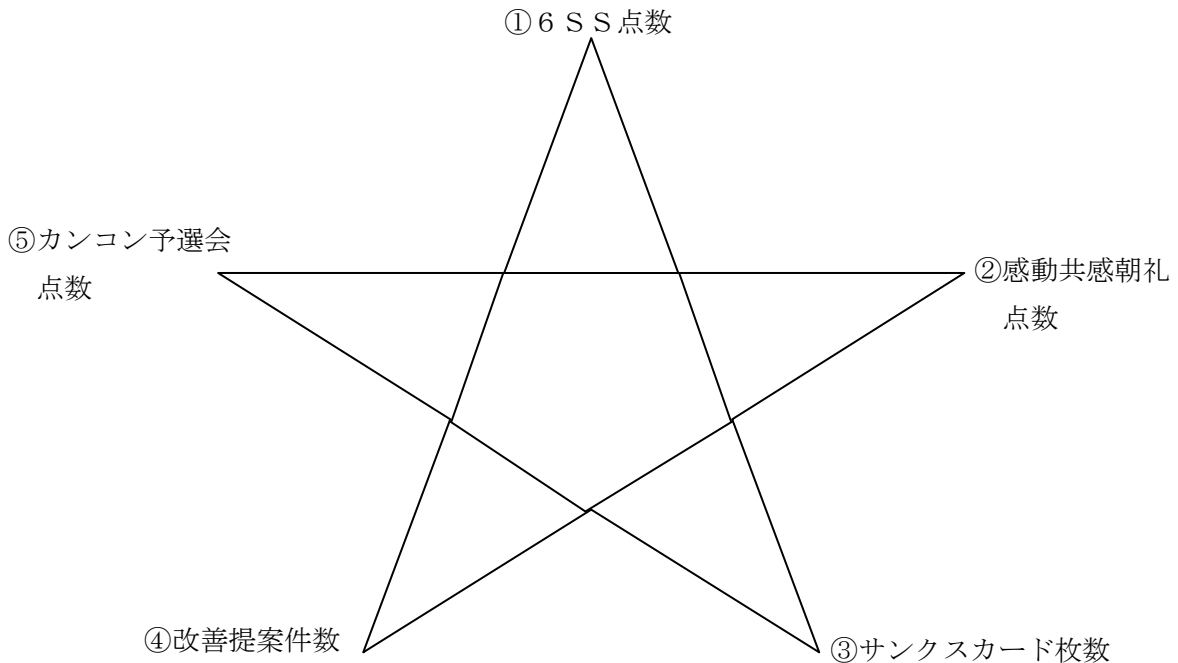
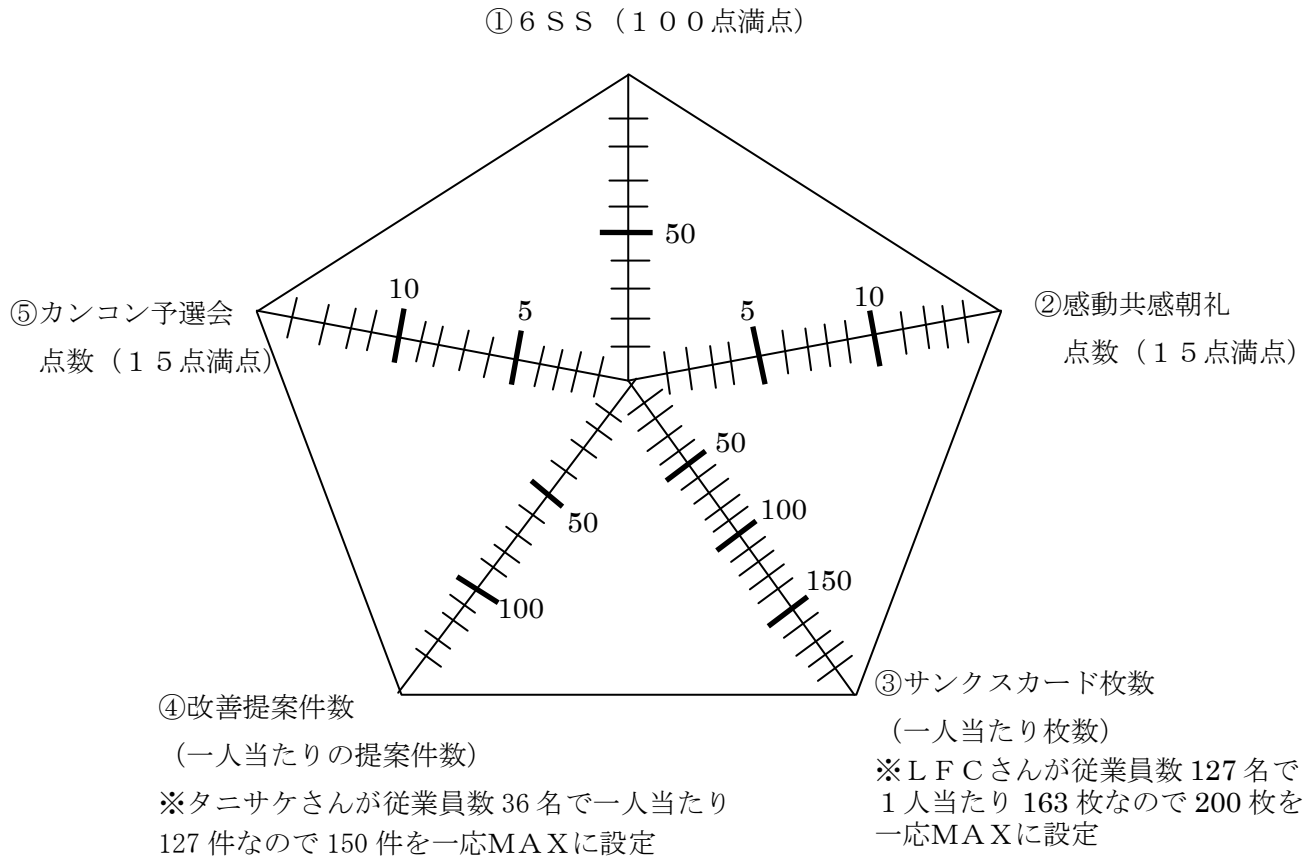


## 「人が輝く企業のイメージ」



⑥番目以降には「ES（働き甲斐度）」や「CS（顧客満足度）」や「一人当たりの生産性」が入ることが想定されています。

## 「人が輝く企業のチャート」



## 「人が輝く企業の採点項目」

### ① 6SS（6S+ショールーム化）

良き人材が生まれ、良き品質が生まれるための「環境整備」に、来社された方が感動し、ファンになる項目もプラスした採点表で採点します。「職場が最高のショールーム、人が最高の商品、お客様が最高の広報マン」。APRA開発の採点表で100点満点。6SSは、整理・整頓・清掃・清潔・作法・しっかりの略ですが、企業によって若干内容は異なります。

### ② 感動共感朝礼

朝礼は良き人を育て、良き風土を育むための大切な積み重ね時間。基本的な内容は、理念の浸透、挨拶などの基本徹底、モチベーションアップなどですが、企業によって個性はあります。大切なことは従業員一人一人の発言機会を多くすること。APRA開発の採点表で15点満点。

### ③ サンクスカード

「ありがとうカード」とも呼ばれますが、従業員が働く仲間への感謝を一枚のカードに書いて渡し、掲示することで、「当たり前」と思わない「感謝」の気持ち・アンテナが育まれます。APRA内で2013年度において従業員一人当たりの枚数が一番だったのは、LFCの従業員数に127名で一人当たりが163枚。企業によっては仲間の美点や善行を称える「陰ほめカード」やお客様との間のエピソードをシェアするための「ハートフルカード」などを別途設けています。

### ④ 改善提案件数

高収益企業のほとんどが高い改善提言件数を上げています。これは売り上げが一定であれば、無駄を省き経費を下げることでしか収益が確保出来ないからです。従業員一人ひとりの問題意識、改善への工夫力が高まります。6Sの中の「三定」である定位置・定品・定量とも関連しています。ちなみにゴキブリだんごで有名なタニサケは、従業員36名で一人当たりの提言件数は127件（日本2位）、この力が経常利益率20%の源泉です。

### ⑤ カンコン予選会

カンコン予選会は、「理念・6SS・ES・CS・社会貢献」の5点、「感動物語の素材力」の10点の計15点満点で採点されます。自社の企業力・感動創造力を図る一つの指標となります。

### ⑥ ES（働き甲斐度）

APRAでは理想の人財象を「自ら意志決定できる自燃人」としています。この自燃人が育まれる環境に必要とされる項目を100点満点の従業員アンケートで計測することで、継続的に向上対策を打ち続けることができます。

### ⑦ CS（顧客満足度）

お客様の満足度の向上なくして、企業の存続はありません。CS調査を行い、その向上対策を実行し続けることは企業存続の条件です。調査項目は企業によって異なりますが、満足度の満点を100点とし、その際の合格点数ラインを80点に設定することで、ある程度の企業間評価も可能となります。

⑧ 一人当たりの生産性

市場が縮小する中で従業員の所得向上を図る原資は、従業員一人当たりの生産性向上しかありません。売  
り上げ総利益（粗利益）を従業員一人当たりで割りますが、これは高い程良い訳ですが、一人一ヶ月当  
りで見ると100万円以上は欲しいものです。従業員の成長→顧客満足の向上→収益の向上のハッピート  
ライアングルで見ても、「収益の向上」は全従業員の努力の成果です。経営的には、業種にもよりますが、  
売上高経常利益率でも、8%以上は欲しいものです。